

# 骨粗鬆症を減らそう

寝たきりになりやすい骨粗鬆症は、中高年になってからでは手遅れと言われる。成長期に骨を意識し、強くする事が肝要。中学生の時代に骨密度を自覚し、食事や運動について考える機会を持つことが望ましい。豊島区では中学生に骨密度の測定を行っている。荒川区でも導入したらどうか。

区：教育委員会と連携して検討する。

# 人工透析を減らそう

人工透析になると、患者の生活が本当に大変になる。医療費もひとり年間 400 万円以上かかる。その危険性を数値(クレアチニン)で示して、患者本人が理解することから、人工透析にならないで済むような健康指導が尼崎市で行われていることを昨年紹介した。検討は進んでいるか。

区：荒川区では、検診結果を伝えるのは、それぞれの医療機関となっている。医師会の理解をえることが難しい。  
せの：積極的に協力を求めるべきだ。



## 認知症予防

ようやく、地域ごとの認知症予防活動が始まった。今年はふれあい館2箇所でおこなう計画。グループづくり、リーダー養成の視点を持ちつつ、自主的に継続する働きかけが大切だと思うがどうか。

区：そのように取り組んでいきたい。

### 文教・子育て支援委員会から

## 情緒障がい等通級指導学級を増設

東京都の推計では、情緒障がいのある児童が1.7倍(2015年/2009年比)になる。

ふだんは普通学級に通う児童が、週1~2回(週8時間以内)、個別あるいはグループで通級指導を受けることで、基本的な生活習慣の確立や、コミュニケーション力の向上をめざしている。

既設：第4 峡田小学校 4学級(40人)

新設：尾久宮前小学校 2学級(20人)

障がいのある子どもたちに、ひとりひとりにあった支援教育を充実する事が必要である。通うことが負担にならないよう、さらに増設を要望したい。

## 荒川区の学力テスト、なくてもいいのでは？

現在、荒川区の子どもたちには、国と都と区がそれぞれ行う学力テストがある。普通のテストも含めると、テストの連続であろう。学力世界一と言われるフィンランドでは、子どもが自分の能力に合わせて学習計画を立てる。16歳までテストはない。授業時間も日本より少ない。日本の教育も根本から変革したほうがいいのでは…。



## 領土問題は冷静に ~もっと文化・ 経済交流を

香港民間団体による領海侵入及び尖閣列島不法上陸に関する意見書

李明博韓国大統領の言動に抗議し、政府に大韓国外交の見直しを求める意見書

### 反対

意見書では尖閣列島での施設整備や李大統領の謝罪を求めているが、隣国とのあつれきが増大するばかりである。日本も韓国も中国も、冷静に、未来志向で知恵を絞って欲しい。